

厚生労働科学研究費補助金（認知症政策研究事業）
分担研究年度終了報告書

連携体制モデルの構築

研究分担者

岩田 淳 東京都健康長寿医療センター・脳神経内科・副院長

研究要旨

抗Aβ抗体薬の導入に際して、一般医、認知症サポート医に対して疾患啓発を行う。地域連携を通じて出来るだけ多くの患者に薬剤投与を行う為のしくみを構築する。

A. 研究目的

抗Aβ抗体薬は新規治療法であり、その詳細については一般医には馴染みがない。また、レカネマブについては2週間に一度の投与であるため、投与開始から6ヶ月経過した時点で継続投与施設に投与を依頼する必要がある。これらの新規モダリティーの治療を導入するにあたり、様々な問題点を洗い出し、効率的な治療法の普及を検討する必要がある。

B. 研究方法

東京都健康長寿医療センターをモデル施設と位置づけ、抗Aβ抗体薬の導入、継続投与の導入、認知症サポート医に対する啓発活動等を行う。
(倫理面への配慮)
患者を特定可能な情報は入手しない。

C. 研究結果

令和6年度中にレカネマブ89例、ドナネマブ7例の導入を完了した。市民向けMCI啓発講座は8回、東京都認知症疾患医療センター向けの研修としては、職員研修105人、サポート医向け研修417人、情報掲示板を作成し都内51医療機関が利用中であり、閲覧数2993件、質問数10件に上った。令和6年度中に継続投与施設を18施設確保、44例の患者を継続投与施設に投与依頼した。

D. 健康危険情報

該当なし

E. 研究発表

1. 論文発表
該当なし

2. 学会発表（発表誌名巻号・頁・発行年等も記入）
該当なし

F. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）

1. 特許取得
該当なし
2. 実用新案登録
該当なし
3. その他
該当なし